

「海外における高等教育に関する動向」（平成21年8月分）

日本学術振興会

【目次】

| | |
|--|------|
| 1. 米国 | P 1 |
| 1-1. 連邦政府や全国的な大学団体等に関するもの（ワシントン研究連絡センター） | |
| ① 高等教育政策 | |
| ② 奨学金関連 | |
| ③ 大学教員関連 | |
| ④ 高等教育の現状 | |
| 1-2. 主として州政府や個別の大学に関するもの（サンフランシスコ研究連絡センター） | |
| ① 新聞報道等 | |
| 2. ドイツ（ボン研究連絡センター） | P 9 |
| ① 連邦教育研究省（BMBF）の動向 | |
| ② ドイツ学術交流会（DAAD）の動向 | |
| ③ ドイツ研究協会（DFG）の動向 | |
| ④ ドイツ大学長会議（HRK）の動向 | |
| ⑤ その他大学等の動向 | |
| 3. 英国（ロンドン研究連絡センター） | P 13 |
| ① ビジネス・イノベーション・技能省（BIS）の動向 | |
| ② イングランド高等教育財政会議（HEFCE）の動向 | |
| ③ 英国大学協会（UUK: Universities UK）の動向 | |
| ④ 英国の新聞等報道（2009年7月21日～8月20日） | |
| 4. フランス（ストラスブール研究連絡センター） | P 23 |
| ① フランス高等教育の動向 | |
| 5. 中国（北京研究連絡センター） | P 24 |
| ① 中国の主要大学の動向（主として大学のHPから） | |
| ② メディア（インターネット）による報道 | |
| ③ メディア（新聞）による報道 | |

1. 米国

1-1. 連邦政府や全国的な大学団体等に関するもの

① 高等教育政策

●学生援助財政責任法

2010年より全ての学生ローンを連邦政府による直接ローンプログラムに切替えることを定めた「2009年学生援助財政責任法 (Student Aid and Fiscal Responsibility Act of 2009)」が7月22日米下院を通過した。連邦議会予算局 (Congressional Budget Office: CBO) は、同法の施行により今後10年で870億ドルの予算削減が可能と推計している。

また、この結果捻出される予算は、以下の方法により再投資されることが規定されている。

- ・ペル・グラント奨学金1件あたりの支給上限額を2010年の時点の5,550ドルから2019年までに6,900ドルに引き上げ (総額400億ドル)
- ・大学教育へのアクセス拡大と卒業率増加支援 (30億ドル)
- ・低金利学生ローンを提供するパーキンス・ローン (Perkins Loan) プログラムの強化
- ・2012年より連邦学生ローンの金利を変動金利とし、低金利を維持
- ・連邦奨学金無償申請制度 (Free Application for Federal Student Aid: FAFSA) による奨学金応募方法の簡素化
- ・黒人大学等に対する在籍・卒業率増加支援 (25.5億ドル)
- ・財務省の負債返済用予算 (100億ドル)

●同法に対する反応

アメリカ・コミュニティカレッジ協会 (American Association of Community Colleges) やコミュニティカレッジ理事協会 (Association of Community College Trustees) などは学生援助財政責任法に対する明確な支持を表明しているが、全米独立大学協会 (National Association of Independent Colleges and Universities) などは態度を保留している。各大学からは、ローンプログラム切り替えにより発生する事務コスト増加への懸念が多く出されている。

独立系シンクタンクである Student Lending Analytics 社の調査によれば、調査対象453大学のうち56%が本年度も民間銀行による学生ローンプログラムの利用を継続する予定であるという。なお、民間銀行による学生ローンプログラム終了の目標年度は来年度となっている。

また、学生ローン最大手のサリー・メイ社は、民間企業による学生ローン取り扱いを全面的に終了するという政府案に反対しており、2009年度上半期には200万ドルを投入して議会へのロビー活動を行っている。

<関連情報>

・下院教育労働委員会

<http://edlabor.house.gov/markups/2009/07/the-student-aid-and-fiscal-res.shtml>

<http://edlabor.house.gov/newsroom/2009/07/chairman-miller-introduces-leg.shtml>

・下院教育労働委員会

<http://edlabor.house.gov/newsroom/2009/07/miller-republicans-try-to-cook.shtml>

・上院保健教育労働年金委員会

http://help.senate.gov/Min_press/2009_07_28.pdf

・米国教育協議会

http://www.acenet.edu/AM/Template.cfm?Section=News_Room&TEMPLATE=/CM/ContentDisplay.cfm&CONTENTID=33313

・The Chronicle of Higher Education

<http://chronicle.com/article/For-Community-Colleges/47493/>

<http://chronicle.com/article/Sallie-Mae-Has-Spent-Millions/47511/>

<http://chronicle.com/article/Majority-of-Colleges-Plan-to/47488/>

・Inside Higher Education

<http://www.insidehighered.com/news/2009/07/22/house>

・Student Lending Analytics

http://studentlendinganalytics.typepad.com/files/sla_flash_ffel_dl_0709.ppt

② 奨学金関連

●ペル・グラント奨学金の成果に関する報告書

教育省の全米教育統計センターは7月21日、ペル・グラント奨学金の成果に関する報告書「A Profile of Successful Pell Grant Recipients: Time to Bachelor's Degree and Early Graduate School Enrollment」を発表した。

これによると、2000年の学士号取得者のうち36%がペル・グラント奨学金を受給していた。また、ペル・グラント奨学金受給者の修学期間は非受給者に比べて10ヶ月程長いことが明らかになった。これはペル・グラント奨学金受給者が非受給者に比べてより多くのリスク要因（両親の教育レベル、休学、出席率、アルバイトへの従事等）を抱えているためである。これらのリスク要因を排除して両者を比較した場合、ペル・グラント奨学金受給者のほうが学位取得に要する年月が短い傾向にあることが認められた。

<関連情報>

・教育省全米教育統計センター

<http://nces.ed.gov/pubs2009/2009156.pdf>

・The Chronicle of Higher Education

<http://chronicle.com/article/Education-Department-Report/47418/>

●メリットベース奨学金の影響

Wake Forest University（ノースカロライナ州）経済学部のアマンダ・L・グリフィス教授が行った成績優秀者等に支給されるメリットベース奨学金の影響に関する論文、「Keeping up with the Joneses: Institutional Changes Following the Adoption of a Merit Aid Policy」が、コーネル大学高等教育研究所（Cornell Higher Education Research Institute）より出版された。

私立大学93校を対象として、メリットベース奨学金導入から10年間のデータを調査したところ、以下のことが明らかになった。

・メリットベース奨学金導入後3年から5年で中位及び上位レベルの大学でペル・グラント

奨学金受給者の割合が減少し始め、6年から10年後に平均5%減少した。

- ・メリットベース奨学金導入後数年は目立った変化は見られないものの、その後上位及び中位校において黒人学生の入学率が減少し始め、10年後には減少率が2%に達した。
- ・メリットベース奨学金導入は経済的必要性に基づき支給されるニードベース奨学金の対象外である留学生の入学率に大きな影響を与え、留学生の入学率は上位及び中位校で2%、低位校では3.5%増加した。

<関連情報>

・コーネル大学高等教育研究所

http://www.ilr.cornell.edu/cheri/upload/cheri_wp120.pdf

・Inside Higher Education

<http://www.insidehighered.com/news/2009/07/31/merit>

③ 大学教員関連

● テニユア制度と大学教育の質

マイアミ大学（フロリダ州）の John M. Rothgeb Jr. 教授と同大学政治学部事務職員の Betsy Burger 氏は、政治学分野におけるテニユア制度と大学教育の質に関する研究結果を学術雑誌、『*PS: Political Science and Politics*』に発表した。

この調査によると、調査対象機関のうち、質の低い教育が見られる割合は博士号授与機関で55%、修士号授与機関で34%、学士号授与機関で17%と、博士号授与機関において最も高いことから、博士号授与機関では研究活動に重点が置かれており、教育の質は低く留まっていることが明らかとなった。逆に、質の低い研究が見られる割合は、学士号授与機関で64%、修士号授与機関で38%、博士号授与機関で14%であった。

また、テニユア候補者が実際にテニユアを取得する割合は学士号授与機関において最も高く、研究大学は学士号取得機関に比べてテニユア却下率が3倍も高くなっている。テニユア取得の際の審査項目にも違いがみられ、学士号授与機関においては書籍出版義務のない機関が82%を占め、書籍出版も論文出版も求めない機関が28%ある一方で博士号授与機関の65%は1年間に最低1本の論文出版を要求しており、10%が書籍1冊、17%が大学出版会からの出版1冊、11%が大学出版会からの出版1冊に加えもう1冊の出版を要求している。

さらに、学士号授与機関の69%が教育活動に関して同僚による評価制度を導入しているのに対し、こうした制度を導入している博士号授与機関の割合は27%に留まるという違いが明らかになった。

<関連情報>

・Inside Higher Education

<http://www.insidehighered.com/news/2009/07/20/polisci>

● 非常勤教員の就業状況

米国の大学における非常勤教員の就業状況に関する調査結果が米国大学教授協会（American Association of University Professors: AAUP）より公開された。この中で、1975年には全教授職の30.2%を占めるに留まっていた非常勤教員率は、2005年には全体の48%と半数近くを占めるに至っていることが明らかとなった。その他、以下のような報告が行われ

ている。

- ・非常勤教員の給与は常勤教員に比べて時間単価で 22~40%低く、福利厚生などの手当では受けられないばかりか、就業状況は悪く、昇進の機会はほとんど与えられていない。
- ・こうした悪条件にも関わらず非常勤教員の労働組合参加率は、常勤教員の 24%に対して 17%と低い。
- ・非常勤教員のうち現在の所属機関で常勤教員となることを望む者は全体の 35%に留まる。
- ・現在の所属機関で常勤となることを望まないと答えた者のうち 72%は非常勤教員職が主な収入源ではない者、16%は非常勤教員職が主な収入源である者、残りの 12%が非常勤教員以外の職を既に退職した者であった。

<関連記事>

・米国大学教授協会

<http://www.aaup.org/AAUP/pubsres/academe/2009/JA/Feat/monk.htm>

④ 高等教育の現状

●大学サービスと卒業率

コーネル大学高等教育研究所 (Cornell Higher Education Research Institute) の Ronald Ehrenberg 教授と博士課程在籍中の Douglas Webber 氏は大学が拠出する学生サービス関連経費と卒業率・学生在籍率の関係に関する研究結果をまとめた論文、「Do Expenditures Other Than Instructional Expenditures Affect Graduation and Persistence Rates in American Higher Education」を発表した。

論文によると、学生サービス経費（学生団体経費、教育施設費、保健・履修サービス費等）と学生卒業率の間には高い相関関係があることが分かった。具体的には、他の要因を同じと仮定して、学生サービス経費を学生一人あたり 500 ドル増加すると、6 年以内の卒業率が 0.7% 高まる一方で、教育研究費を学生一人あたり 500 ドル増加した場合の卒業率は 0.3% の上昇に留まるといふ。また、研究費を同額増額した場合は、卒業率は 0.7% 減少するという結果となった。なお、学生サービスと卒業率の相関関係は特に成績の平均値が低く、ペル・グラント奨学金受給者の割合が高い大学において強い傾向があることが明らかになっている。

<関連情報>

・コーネル大学高等教育研究所

http://www.ilr.cornell.edu/cheri/upload/cheri_wp121.pdf

・Inside Higher Education

<http://www.insidehighered.com/news/2009/07/29/gradrate>

●STEM 分野就学状況

教育省全米教育統計センターが行った STEM 分野の就学状況に関する調査及び NSF の助成により Purdue University (インディアナ州) が行った工学分野の就学状況に関する調査結果がそれぞれ発表された。

教育省全米教育統計センターの調査によれば、1995~6 学年度に大学に入学し 2001 年までに STEM 分野を専攻した学生のうち、学位または修了証を取得した者は全体の 54.9%であり、

これは非 STEM 分野の平均である 50.6%に比べて高い割合であることが分かった。ただし、これらの学生のうち、STEM 分野において学位または修了証を取得した者は 40.7%に留まっており、20.6%は非 STEM 分野において学位または修了証を取得したか、専攻を変更していることも明らかとなった。人種別に STEM 分野を専攻し、学位を取得する学生の割合を見ると、白人 43.9%、アジア系 39.9%、ヒスパニック系 33.1%、黒人 31.7%と、白人学生が最も高くなっていることが判明した。

また、Purdue University が行った調査によると、工学分野の学位のうち 93%は入学当初より専攻している学生に授与されていることから、学生在籍率は他分野と比較して、男女ともに低くはないという。ただし、他分野を専攻していた学生が工学分野に転向する割合は低いことから、大学入学以前の段階で工学部への学生勧誘活動を活性化することが重要であると結論づけられている。

<関連情報>

・教育省全米教育統計センター

Students Who Study Science, Technology, Engineering, and Mathematics (STEM) in Postsecondary Education (NCES 調査報告書)

<http://nces.ed.gov/pubs2009/2009161.pdf>

・Inside Higher Education

<http://www.insidehighered.com/news/2009/07/30/stem>

<http://www.insidehighered.com/news/2009/08/05/engineer>

1-2. 主として州政府や個別の大学に関するもの

① 新聞報道等

●カリフォルニア大バークレー校の環境対策、全米 695 大学中、最高の評価—Princeton Review 誌

(UC Berkeley News July 27, 2009)

http://www.berkeley.edu/news/media/releases/2009/07/27_green.shtml

●2010 年秋に向けて同窓生からの評議委員就任申し込みが開始

(Stanford University News July 28, 2009)

<http://news.stanford.edu/news/2009/july27/alumni-trustee-nominations-072809.html>

●加州の教育予算削減により、特別支援課程の学生の学位取得が困難に

(San Francisco Chronicle July 29, 2009)

<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/07/29/MN4C18U1AR.DTL&feed=rss.education>

●高等教育課程のオンライン化が加速—全学生の 21.9%にのぼる

(San Francisco Chronicle August 2, 2009)

<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/08/02/CMLM18L4MG.DTL&feed=rss.education>

●プリンストン大学プラズマ物理研究所が ARRA 法（米国の回復と再投資に関する法律）の一環として 1,380 万ドルの資金を獲得

(News at Princeton August 4, 2009)

<http://www.princeton.edu/main/news/archive/S24/94/16E42/index.xml?section=topstories>

●大学生の学習到達度を調査できるウェブサイトが登場

(U. S. News Education August 4, 2009)

<http://www.usnews.com/articles/education/2009/08/04/how-much-do-colleges-really-teach-students.html>

●プリンストンの学生が世界で学ぶ機会を広げる

(News at Princeton August 5, 2009)

<http://www.princeton.edu/main/news/archive/S24/95/28E71/index.xml?section=topstories>

●キャリアアップを目指して大学進学を希望する社会人が急増—連邦政府、州政府、大学が財政面でサポート—

(U. S. News Education August 5, 2009)

<http://www.usnews.com/blogs/college-cash-101/2009/08/05/more-financial-aid-for-adults-who-want-to-return-to-college.html>

●カリフォルニア大、州政府に約2億ドル貸与—返済金を設備投資に充当する計画

(San Francisco Chronicle August 6, 2009)

<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/08/05/BAGK1942B2.DTL&feed=rss.education>

●ハーバードが名門私立校風デザインに「ハーバード」名称の使用を許諾

(Inside Higher Ed August 7, 2009)

http://www.insidehighered.com/news/2009/08/07/qt/harvard_licenses_line_of_preppy_clothing

●新型インフルエンザへの過剰反応を危惧—連邦保健当局、安易に学校を閉鎖しないよう通達

(New York Times August 7, 2009)

<http://www.nytimes.com/2009/08/08/health/08flu.html?partner=rss&emc=rss>

●カリフォルニア大、職員の人員及び給与を削減する一方、役員報酬は増額

(San Francisco Chronicle August 7, 2009)

<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/08/07/MNSG194N2P.DTL&feed=rss.education>

●経済、財政の悪化により大学等高等教育機関での芸術教育が縮小の傾向

(New York Times August 9, 2009)

<http://www.nytimes.com/2009/08/10/arts/10cuts.html?partner=rss&emc=rss>

●買い手の後悔—カリフォルニア大学マーセド校存亡の危機

(Inside Higher Ed August 10, 2009)

<http://www.insidehighered.com/news/2009/08/10/merced>

- キャンパスの安全性が試される
(Inside Higher Ed August 10, 2009)
<http://www.insidehighered.com/news/2009/08/10/security>

- 卒業生である寄付者の子どもからの出願を促進ーテキサス工科大学
(Inside Higher Ed August 10, 2009)
http://www.insidehighered.com/news/2009/08/10/qt/texas_tech_will woo_children_of_a_lumni_donors

- 学生が大学キャンパス内の歩道に必要な電灯の明るさを計測
(News at Princeton August 10, 2009)
<http://www.princeton.edu/main/news/archive/S24/98/35G62/index.xml?section=topstories, featured>

- 証拠書類の無い移入者であるために、州内出身者用の学費や奨学金を利用できない学生ーアリゾナ州
(Inside Higher Ed August 11, 2009)
http://www.insidehighered.com/news/2009/08/11/qt/documenting_arizona_s_undocumented_immigrants

- 修士課程学生の現状
(Inside Higher Ed August 11, 2009)
<http://www.insidehighered.com/news/2009/08/11/masters>

- 米国の変化に対応する一つの選択肢：大学院生への補助金貸付中止と、大学スポーツへの課税
(Inside Higher Ed August 11, 2009)
http://www.insidehighered.com/news/2009/08/11/qt/options_for_u_s_changes_ending_subsidized_loans_for_grad_students_taxing_college_sports

- 米国のエネルギー技術の未来を予測ー報告書より
(News at Princeton August 11, 2009)
<http://www.princeton.edu/main/news/archive/S24/99/55G75/index.xml?section=topstories, featured>

- カリフォルニア大バークレー校、ジャーナリズム研究科でハッキングによる個人情報漏洩
(UC Berkeley News August 11, 2009)
http://www.berkeley.edu/news/media/releases/2009/08/11_data.shtml

- エール大学の敷地内に環境に優しい店舗が開店
(Yale University office of public affairs August 11, 2009)
<http://opa.yale.edu/news/article.aspx?id=6817>

- 加州知事、オンラインによる教科書頒布推進へー学生の経済的負担に配慮
(San Francisco Chronicle August 12, 2009)
<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/08/12/BA2Q1973QE.DTL&feed=rs>

[s. education](#)

- なぜ大学に多様性（人種、民族、性別、宗教など）が求められるのか？

(U. S. News Education August 12, 2009)

<http://www.usnews.com/blogs/professors-guide/2009/08/12/why-does-diversity-matter-at-college-anyway.html>

- 元米国外交官がスタンフォード大学の評議委員に就任

(Stanford University News August 13, 2009)

<http://news.stanford.edu/news/2009/august10/spogli-trustee-elect-081309.html>

- イリノイ大学、事務局による不正入学事件を受け、学生の入学規程改善へ向けて努力

(U. S. News Education August 13, 2009)

<http://www.usnews.com/blogs/paper-trail/2009/08/13/university-of-illinois-president-promises-reforms.html>

- 不景気のため、今年度入学予定の学生の確保が困難に—大学は様々な手段を使って学生確保に乗り出す—

(U. S. News Education August 14, 2009)

<http://www.usnews.com/blogs/paper-trail/2009/08/14/colleges-guesstimate-the-size-of-their-freshmen-classes.html>

- iPod が教科書代わりに。しかし、課題も多い。

(U. S. News Education August 14, 2009)

<http://www.usnews.com/blogs/paper-trail/2009/08/14/textbooks-come-to-the-ipod.html>

- 授業料の二重請求に学生側が提訴—カリフォルニア州立大

(San Francisco Chronicle August 15, 2009)

<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/08/15/MNGK198KEL.DTL&feed=rss.s.education>

- オバマ大統領、景気対策の予算を教育関連の支出へ

(New York Times August 16, 2009)

<http://www.nytimes.com/2009/08/17/education/17educ.html?partner=rss&emc=rss>

- 前下院議長と公民権運動のリーダーが教育省長官をサポート—学校教育制度改革に向けて—

(U. S. News Education August 17, 2009)

<http://www.usnews.com/blogs/on-education/2009/08/17/arne-duncan-al-sharpton-and-newt-gingrich-join-forces.html>

2. ドイツ

① 連邦教育研究省（BMBF）の動向

● 研究業績に関する新たなデータベース (07 Jul 2009)

論文発表や引用数といった研究活動の業績・評価を行う上で、文献計量学的な数値がより一層必要とされていることにかんがみ、BMBF はバーチャル組織である「ビブリオメトリックス専門センター（Kompetenzzentrum Bibliometrie）」の設置に 600 万ユーロの資金支援を行った。センターは大学や研究者にとって活用されるだけでなく、ドイツの学術制度上の欠点や長所等の洗い出しにも活用される。

BMBF HP プレス (<http://www.bmbf.de/press/2613.php>)

● シャバーン大臣：「ともにポローニャ改革のさらなる進展を」 (07 Jul 2009)

BMBF のアネッテ・シャバーン大臣は、教育ストライキの活動団体の代表者、学生代表者そしてドイツ高等教育における上層部の代表者らとともにポローニャ改革に関する協議を行った。ポイントは流動性がもたらす学生の経験、バチェラーからマスターへの移行、就職におけるバチェラーの有用性などであり、改革における成功点・問題点を以下のように結論づけた。

<成功した点>

1999 年以来、留学した学生の数はほぼ 2 倍近くとなった。ドイツは世界の国々の中で 3 番目に人気のある留学先となっている。ドイツの大学および専門大学の学生は今まで以上に満足する傾向を見せており、その要因として、学習過程（履修コース）の構成、大学での講義・ゼミの質の高さが挙げられている。

<改正すべき点>

制度改革は、カリキュラムの刷新と結びついていなければならず、バチェラーコースの修業年限については、より多くの柔軟性が必要とされる。

また、バチェラーからマスターへの移行については、学生自身がマスターコースへ進みたいかどうかを決めることができるべきである。

学生への指導や助言も、本質的により良いものでなければならない。

BMBF HP プレス (<http://www.bmbf.de/press/2614.php>)

● シャバーン大臣：「研究 国外の戦略的パートナーを求む」 (15 Jul 2009)

連邦政府は、2008 年に可決された学術研究における国際化戦略に関する初の中間報告を発表した。その際、BMBF のアネッテ・シャバーン大臣は戦略の重要な点として、BMBF によって財政支援されたフンボルト・プロフェッサーシップ、研究者らのための奨学金の構築、そして研究におけるクラスターとネットワークに的を絞った国際化などを挙げた。

国際化戦略の中間報告では、次の 4 項目に重点を置いている。（1）トップレベルのパートナーとの研究協力を強化、（2）国際的なイノベーションの可能性を開発、（3）発展途上国との教育、研究、開発における連携協力を持続的に強化、その国際的責務を引き受ける（4）世界規模の課題解決

BMBF HP プレス (<http://www.bmbf.de/press/2623.php>)

● シャバーン大臣：「教育は優先権を持つべきである 世界中で！」 (22 Jul 2009)

「持続的発展のための教育」に関する第 3 次連邦政府報告書が、内閣によって 7 月 22 日に可決された。教育システムのすべての分野において、持続的な発展のための教育の実現について方針と勧告が存在するというを示している。

シャバーン大臣は「来年は、持続的な発展のための教育に関してさらなる可視化を達

成することが、国内的にも国際的にも重要である。そのために、参加する州との交流がさらに集中的になされるとともに、グッドプラクティスがより広く公開される必要がある。」と述べた。

BMBF HPプレス (<http://www.bmbf.de/press/2629.php>)

② ドイツ学術交流会 (DAAD) の動向

● DAAD 年次報告書 2008 年：「2008 年は、国際的交流にとって良い 1 年であった。」
(15 Jul 2009)

DAAD は、合計 57,514 人のドイツ人と外国人を支援した。この最高記録は、とりわけ 2300 万ユーロの予算増加のおかげである。DAAD は、合計 3 億 390 万ユーロおよび 26 の新たな奨学金プログラムで、学生、研究者および芸術家への支援とともに国際化における大学の支援を行った。強気に成長した分野は、ほかでもないドイツの大学のカリキュラム (学習課程) の輸出である。現場でのパートナーおよび DAAD のノウハウにより、ドイツの大学は、国外においてドイツのやり方を手本とした学習過程の提供を行ったり、大学そのものを創設したりしている。最近の例としては、イスタンブールにおけるドイツ・トルコ大学が挙げられる。

DAAD HP プレス

(<http://www.daad.de/portrait/presse/pressemitteilungen/2009/11175.de.html>)

● ドイツ「元留学生」のための同窓会ポータルサイト (21 Jul 2009)

ドイツ留学の経験がある、あるいはドイツで専門的な職業教育を修了した外国人にとってのバーチャルネットワークであるドイツ同窓会ポータルサイトは、バージョンを新たにし、さらにユーザーのニーズに答えている。インターネットポータルサイト www.alumniportal-deutschland.org は、すべての「元留学生」に、組織の垣根を越えたネットワーク形成を提供している。

InWEnt^{*}、DAAD およびゲーティンスティテュートといったドイツの公的機関によって支援された元奨学生だけでなく、私費留学生も「ドイツ同窓会」の資格がある。ポータルサイトでは、この元留学生らのために合わせて作られたサービスや可能性を見ることができる。

^{*}「インヴェント (InWEnt gmbH : 国際職業向上訓練・発展公益有限会社)」

職業訓練分野を中心とした国際協力や人材交流、人材育成及び調査研究棟の事業を幅広く展開している公益法人 (在デュッセルドルフ日本国総領事館 HP より)

DAAD HP プレス

(<http://www.daad.de/portrait/presse/pressemitteilungen/2009/11231.de.html>)

● エラスムスの奨学生がドイツの学校で授業 (31 Jul 2009)

ヨーロッパ中からドイツの大学に留学しているエラスムス奨学生が、ドイツの初等、中等学校での文化交流授業に参加する機会が提供されている。DAAD 内に設置されたヨーロッパ大学連携協力のための事務局が支援する「Europa Macht Schule (ヨーロッパが学校を作る)」というプログラムにより、奨学生らはドイツの日常に触れることができるとともに生徒らは直にその国の印象を聞くことができ、相互理解を深めることに貢献している。

参考 : www.europamachtschule.de.

DAAD HP プレス

(<http://www.daad.de/portrait/presse/pressemitteilungen/2009/11302.de.html>)

③ ドイツ研究協会（DFG）の動向

● エミー・ネーター・プログラム ポツダムで第 8 回年次会合 (24 Jul 2009)

競争環境におけるキャリア展望、エリート選抜における多面的な判断基準、前進する学術の国際化および学術支援。これらは、7月17日から19日までポツダムで開かれた今年のエミー・ネーター会合の際の中心テーマである。この種の会合の第8回となる今会合において、160人のエミー・ネータープログラム若手研究グループのグループリーダーらと、ヨーロッパ研究協会（ERC）のスタート助成プログラムによって支援された数人などが互いに意見交換し、その後ドイツ研究協会（DFG）の代表者および他の学術機関の代表者らとともに、ドイツにおける若手研究者助成の具体的かつ戦略的な課題を討論しあった。

<エミー・ネーター・プログラム（個人研究助成 若手養成）>

1999年より開始。若手研究者の早期独立を支援。博士号取得後の研究者らは、原則5年の支援によって、自らの若手研究グループを率いることで、大学で指導・教授するための能力を獲得することになる。

DFG HP プレス

(http://www.dfg.de/aktuelles_presse/pressemitteilungen/2009/presse_2009_35.html)

● エクセレンス・イニシアティブのための DFG インターネットビデオポータルに良好な中間結果 (03 Aug 2009)

ドイツにおける先端研究をマルチメディアで体験可能なものとするため、今年初めからエクセレンス・イニシアティブ紹介インターネットポータルサイトが提供されてきた。www.exzellenz-initiative.de（ドイツ語）および www.excellence-initiative.com（英語）のサイトでは、エクセレンス・イニシアティブによって支援されたすべての大学が順々に、4分から5分のフィルムで紹介されることになる。月曜日ごとに、新たな施設（機関）に関するフィルムがポータルで紹介され、紹介されたプロジェクトについての最新の文章やダウンロード、そして無数の背景情報によって補足・説明される。

2009年1月半ばのこのポータルサイトの開始から半年、大学院設立構想（グラデュエート・コレク）、先端研究拠点設立構想（エクセレンス・クラスター）、大学の未来構想（エリート大学）で支援された全85機関のうち半分が、このインターネットビデオポータルサイトに集約された。中間結果は、幾つかの観点で非常に良好との結果をもたらすこととなった。

DFG HP プレス

(http://www.dfg.de/aktuelles_presse/pressemitteilungen/2009/presse_2009_37.html)

④ ドイツ大学長会議（HRK）の動向

● ボローニャ改革 現状の克服と目標の達成に向けて (15 Jul 09)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2328.php)

● 景気刺激対策が大学を支援 (15 Jul 09)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2329.php)

● 学籍情報システムが9月1日予定通り開始 (15 Jul 09)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2330.php)

● 教員養成の継続的発展を議論 (15 Jul 09)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2331.php)

● 大学が連邦議会選挙前の各政党に12の質問 (15 Jul 09)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2332.php)

⑤ その他大学等の動向

● エアランゲンにマックス・プランク光物理学研究所が開所 (03 Aug 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/japanese/10.13461.1.html>)

● 連邦教育促進法にもとづく奨学金 (BAföG) 受給者数が増加 (05 Aug 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/japanese/10.13521.1.html>)

● 新たなエリート競争についての予定表 (14 Jul 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13422.1.html>)

● ボン大学 2011年から2012年にかけての冬学期に教職コースを再開 (16 Jul 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13440.1.html>)

● 6000以上の学籍がオンラインでの登録可 (20 Jul 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13476.1.html>)

● 調査：多くの寄付講座が南ドイツに開設されている (25 Jul 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13474.1.html>)

● 2007年度博士号取得者に占める女性の比率が過去最高の42パーセントに (10 Aug 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/japanese/10.13529.1.html>)

● ドイツにおける外国人留学生数、ここ数年で初めて降下 (10 Aug 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13543.1.html>)

● カールスルーエ技術研究機関(KIT) 年間予算7000万ユーロ、従業員8000人で10月1日から始動 (11 Aug 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13544.1.html>)

3. 英国

① ビジネス・イノベーション・技能省 (BIS) の動向

●マンデルソン大臣が就任後初となる高等教育に関する講演を実施

7月27日、BISのマンデルソン大臣が、ロンドン大学バーベック校において、学長など高等教育関係機関の代表者に向け、就任後初となる高等教育に関する講演を行った。講演の主な内容は以下のとおり。

- ・低所得者層の若者の支援など高等教育への平等なアクセスを確保するため、大学の必要な資金を強化する授業料の問題は切り離すことができない。大学が課す学費と大学での修学状況と支払い能力のない若者支援とは常に関連付けて考えなければならない。(今秋予定されている授業料見直しに関連した発言。)
 - ・大学が力強い英国経済を作るために重要な役割を担う。そのため、特に企業と大学が協力し、大学で生み出される知識をもっと職業や経済成長の形に変える必要がある。
 - ・個々の大学が抱える運営課題がある一方、英国全体の戦略的課題もあると考えており、大学の多様な使命や自治があることは明白だが、国の経済に必要な高等教育部門の一体的な戦略構想もまた必要となる。今度策定する高等教育フレームワーク (Higher Education Framework) においては、そのバランスを保つことを念頭に置いている。
 - ・Alan Milburn 下院議員による報告書『抑えきれない願望 (Unleashing Aspiration)』(※)で挙げられた社会的流動性に関する主要課題について、同意の上、以下言及。
 - －大学教育は、人が職を得て、人並みの生活を送るための道しるべとなる。そのため、貧しい家庭の若者が大学で学べないような現状をこのまま続けていくべきか、疑問に思うべき。
 - －入学選考において、能力ある若者を評価する指標を別途活用している大学の例もあり、人材発掘の斬新な方法として政府も支持できる。
- (※) 首相の諮問委員会である「職業公正アクセス委員会 (The Panel on Fair Access to the Professions)」による最終報告書。Milburn 議員が委員長を務めた。

【BIS プレスリリース】

Universities are central to economy and social mobility – Lord Mandelson says in keynote speech (27 July 2009)

<http://nds.coi.gov.uk/content/Detail.aspx?ReleaseID=405251&NewsAreaID=2>

【*Unleashing Aspiration: The Final Report of the Panel on Fair Access to the Professions*】

<http://www.alanmilburn.co.uk/unleashing-aspiration>

② イングランド高等教育財政会議 (HEFCE) の動向

●2009年度の各大学への運営費交付金の交付契約額を公表

7月23日、HEFCEは、各大学・カレッジに配分する2009年度の運営費交付金について、今年3月に発表された配分額に変更を加えた交付契約 (funding agreements) 額を発表した。

今回の変更において、教育研究経費等に相当する「recurrent grant」の合計額は約64.54億ポンドと、2009年3月発表時(合計額約65.00億ポンド)に比べ約5千万ポンド(約7%)の減額となっている。また、そのうち教育的経費 (Teaching funds) については2009年3月発表時の47.82億ポンドから、今回65百万ポンドの支出節減(約1.36%減)が行われ、47.17億ポンドとなった。

この支出節減は、5月のDIUS (イノベーション・大学・技能省 (現在のBIS)) 大臣からの

1.8億ポンドの支出節減依頼を受けて行われたとされている。

【HEFCE プレスリリース】

Funding agreements for 2009-10 issued (23 July 2009)

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2009/grant.htm>

●10,000人追加入学者の各大学等への配分人数・対象科目を通知

7月28日、HEFCEは、BISが7月20日に発表した大学入学者枠10,000人分追加（「海外における高等教育に関する動向」（平成21年7月分）参照）に関して、入学者数の割り当て及び対象専攻科目等について各大学・継続教育カレッジへの通知を行った。その後、各大学等と追加入学者数の調整を行った上、7月31日に各大学等への再配分通知を行い、配分人数を確定させた。

BISの発表では今回の入学対象が理工系科目（science, technology, engineering and maths (STEM) subjects）専攻に限定されていたが、HEFCEが各大学・カレッジに対して行った通知によると、4月に政府から発表された『新たな産業、新たな職業（New Industry, New Jobs）』の方針に資する科目を入学対象としており、理工系科目に限らず経済学、経営学等も対象に含まれた。

なお、今回 HEFCE から支出される資金は授業料を賄う学生支援経費とされ、大学への教育経費の追加支出はない。

【HEFCE プレスリリース】

Further information on new student places for 2009-10 (29 July 2009)

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2009/studentplaces/further.htm>

Final distribution of new student places confirmed (31 July 2009)

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2009/studentplaces/confirmed.htm>

【(参考) *New Industries, New Jobs*】

http://www.dius.gov.uk/~media/publications/N/new_industry_new_jobs

●2009年度全国学生調査の結果を発表

8月6日、HEFCEは、高等教育における2009年度（第5回）全国学生調査（National Student Survey (NSS)）の結果を発表した。

国内の高等教育・継続教育機関の学生に対して授業等の満足度に関する調査を行うもので、英国全体の回答者数は対前年度比3,000人以上増の合計223,363人（回答率は英国全体で62%）。調査結果のうち、英国全体に関するものは以下のとおり。（HEFCE プレスリリースでは England の調査結果が出ている。）

【全国学生調査結果（英国全体）】

| 質問番号 | 質問分類 | 2008年度調査 満足度 (%) | 2009年度調査 満足度 (%) |
|-------|---|---------------------|---------------------|
| 1-4 | ①自身の専攻課程の授業について (The teaching on my course) | 83 | 83 |
| 5-9 | ②成績評価と結果の見直しについて (Assessment and feedback) | 64 | 65 |
| 10-12 | ③履修におけるサポートについて (Academic support) | 74 | 74 |
| 13-15 | ④専攻課程の構成、進め方について (Organization and management) | 72 | 72 |
| 16-18 | ⑤履修教材について (Learning resources) | 81 | 81 |

| | | | |
|-------|---|----|----|
| 19-21 | ⑥自己の能力開発について (Personal development) | 78 | 79 |
| 22 | ⑦全体的な専攻課程の満足度について (Overall satisfaction) | 82 | 82 |

【HEFCE プレスリリース】

National Student Survey shows increased participation and continued high levels of satisfaction among higher education students (6 August 2009)

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2009/nss.htm>

③ 英国大学協会 (UUK: Universities UK) の動向

●英国議会下院発表の報告書に対し「失望」のコメント

8月2日、UUKは、イギリス議会下院 (House of Commons) のイノベーション・大学・科学・技能委員会 (Innovation, Universities, Science and Skills Committee) が同日付けで発表した報告書『学生と大学 (Students and Universities)』に対して、「いくつか有用な勧告が述べられている一方、各大学が熱心に取り組んできた多くの改革が無視され、高等教育の現状の多くが否定的に見られたことに失望した。」とコメントした。

同報告書の主な勧告内容は以下のとおり。

- ・国内の高等教育の質保証の基準が一貫性を欠き、時代遅れとなっているため、高等教育水準評価機構 (QAA: Quality Assurance Agency) を改革し、一定の高等教育水準を保つための監視・報告責任を担う独立の質・水準機構 (Quality and Standard Agency) に変える必要がある。
- ・改革された QAA から、大学が 10 年ごとに基準認定に関する審査を受ける必要がある。
- ・高等教育機関関係者の指導力が受身・自己満足で、重要な懸案事項を積極的に検討しようとする意欲がない風潮にあり、それを変えていく必要がある。
- ・パートタイム学生、成人学生に対する支援策を改善する必要がある。
- ・大学によって受けられる奨学金の種類に格差のある現状を改め、国による統一した奨学金制度を導入する必要がある。
- ・継続教育カレッジでの高等教育を導入し、大学への編入制度を整備する必要がある。
- ・政府は大学間の単位互換制度を支援する必要がある。
- ・リーズ大学が行う障害者の修学支援制度が、高等教育機関の標準的取組みとして浸透する必要がある。
- ・高等教育機関の中には入学や学則などにつき良い取組みを行っているところもあるが、公的資金を受けているすべての高等教育機関に統一的にそれが導入される必要がある。
- ・学生の入学機会均等を図るため、大学は入学選考における公平性を保つ必要である。
- ・大学運営に関する密告者 (whistleblowers) を保護する規則整備が必要である。

【UUK プレスリリース】

Universities UK 'disappointed' by Innovation, Universities, Science and Skills Committee final report (2 August 2009)

<http://www.universitiesuk.ac.uk/Newsroom/Media-Releases/Pages/UniversitiesUK%e2%80%98disappointed%e2%80%99byInnovation,Universities,ScienceandSkillsCommitteefinalreport.aspx>

【House of Commons (Innovation, Universities, Science and Skills Committee) プレスリリース】

UNFIT STANDARDS SYSTEM, 'DEFENSIVE COMPLACENCY' FROM THE TOP AND DISCRIMINATION AGAINST PART-TIME AND MATURE STUDENTS

MPS DELIVER WAKE UP CALL TO HIGHER EDUCATION SECTOR (2 August 2009)
http://www.parliament.uk/parliamentary_committees/ius/ius_020809.cfm

【報告書 (*Students and Universities*)】

<http://www.publications.parliament.uk/pa/cm/cmdius.htm>

なお、本内容については8月1日にBBCでもニュースとして報じられた。

【BBC・2009年8月1日放送内容】

Universities 'fail on standards'

<http://news.bbc.co.uk/1/hi/education/8178740.stm>

Are degree grades worth the same?

<http://news.bbc.co.uk/1/hi/education/8179116.stm>

● 企業の景気回復支援のための大学情報ウェブサイトを新たに開設

8月13日、UUKは、大学が企業等雇用主の景気回復を支援する役割を果たすため、各大学が支援できる専門分野等の情報を地図にて示すウェブサイト

を新たに開設した。同サイトには、大学ビジネス・スクールによる雇用主の指導管理能力の改善、資本増強、特許に関する助言、顧客対応の改善等の情報が掲載されている。

【UUKプレスリリース】

Universities offer businesses real help in recession (13 August 2009)

<http://www.universitiesuk.ac.uk/Newsroom/Media-Releases/Pages/Universitiesofferbusinessesrealhelpinrecession.aspx>

【UUKが企業の景気回復支援策として新たに開設したウェブサイト】

Standing together: Universities helping business through the downturn

<http://www.universitiesuk.ac.uk/PolicyAndResearch/Campaigns/StandingTogether/Pages/Default.aspx>

④ 英国の新聞等報道 (2009年7月21日~8月20日)

● The TIMES

24 July 2009

大学の授業料が上昇しているため、貧困層の学生が資金不足に直面している

Poor students face grant shortfall as university tuition fees go up

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6725168.ece

26 July 2009

年間£7000にも達する授業料引き上げが計画されている

Plan for tuition fees to hit £7,000 a year

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6727699.ece

28 July 2009

マンデルソン (ビジネス・イノベーション・職業技能大臣) : 大学は (授業料引き上げを正当化するため) 労働者層の学生をもっと受け入れるべきだ

Lord Mandelson: universities must stop failing working class

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6728801.ece

29 July 2009

(10,000人の) 特別入学枠が追加されるが、ただしそれはトップ大学以外である

Extra places but not at the top universities

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/good_university_guide/article6731858.ece

2 August 2009

大学は、教育水準が下がる恐れを無視している

Universities 'ignore' fears over standards

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6736054.ece

7 August 2009

引上げ授業料 (top-up tuition fees) 制度導入初年度に入学した今年の卒業生は、授業が「支払った金額だけの価値がなかった」と回答している (全国学生調査の結果)

First graduates to pay tuition fees 'did not get value for money'

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/student/article6741872.ece

9 August 2009

低所得者層の生徒を好むマンデルソン大臣

Lord Mandelson to favour poor pupils

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6788798.ece

9 August 2009

大学は英国人のための進路を閉ざしている

Universities close courses to UK pupils

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6788739.ece

13 August 2009

主要な大学の学部は、留学生なしでは破滅するだろう

Key university departments could 'implode' without foreign students

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6793829.ece

15 August 2009

年齢の高い学生からの申請の急上昇により、その分 (シックス・フォームの) 学校新卒者が大学に入れない可能性がある

Surge from older students means school-leavers will miss university

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6797119.ece

15 August 2009

大学院での修学資金の見つけ方 (大学院生のための奨学金、貸付金制度の見通し)

How to fund your postgraduate studies

<http://www.timesonline.co.uk/tol/money/borrowing/article6796503.ece>

20 August 2009

大学での志願者受入がすでに定員満杯となり、A レベル試験成績優秀者の (新方式による志望校格上げ調整期間に対応する) 受け入れができない状況にある

Full universities leave A-level winners unable to trade up

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/student/article6802454.ace

20 August 2009

将来を左右する大学学位

A degree of control over your future

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/student/article6802267.ace

●[The Guardian](#)

21 July 2009

厳しいビザのシステムが英国への留学生を阻止している

Tough visa rules deterring overseas students coming to UK

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/21/visa-rules-deterring-overseas-students-to-uk>

27 July 2009

マンデルソン（BIS 大臣）が授業料の増額を示唆した

Mandelson hints tuition fees could rise

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/27/mandelson-hints-tuition-fees-could-rise>

28 July 2009

大学は職業資格を取った学生を見捨てている-職業資格を取った学生はあまりトップの大学には進学せず、落第率も高い

Universities are failing students with vocational qualifications

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/28/vocational-qualifications-university-dropout>

28 July 2009

Stem 科目（理工系科目）だけではなく、創造力(人文・芸術系)にも投資するべきである

We must invest in creativity, not just Stem subjects

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/28/creative-industries-investment-university>

31 July 2009

10,000 人入学者枠の追加は新しい大学に多く配分された

Extra student places go largely to new universities

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/31/student-places-new-universities>

2 August 2009

どうやってよい大学と悪い大学を見分けたらよいのか?

How do we tell the good universities from the bad?

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/aug/02/university-degree-comparison-oxford>

3 August 2009

統計によると、大学生の半数は両親からの資金的援助が必要である

Half of university students will need parents' help for cash, study finds

<http://www.guardian.co.uk/money/2009/aug/03/university-students-parents-money-help>

4 August 2009

門戸を広げよう：長い年月がたっても階段を上るためのサポートは少ない（貧困層の進学機会に関する記事）

Widening participation: so many years and so little help up the stairs

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/aug/04/widening-participation-david-willetts>

6 August 2009

学生はあまり自分の大学に満足していない（2009年度全国学生調査の結果）

Students less satisfied with their universities, says survey

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/aug/06/national-student-survey-satisfaction>

6 August 2009

卒業生も自分の受けてきた教育に満足していない（2009年度全国学生調査の結果）

Students a degree less happy

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/aug/06/university-students-degree-less-happy>

14 August 2009

A レベルの学生たちは大学入試に向けて戦々恐々としている

University clearing fears for A-level students

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/aug/14/university-clearing-places-a-level-students>

17 August 2009

新方式による出願先の変更について注意：A レベル試験で良い成績を獲得してもよい大学には進学できない

Trade-up warning: A-level winners won't get a better university place

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/aug/17/alevels-trade-up-university-admissions>

18 August 2009

大学の図書館は静かに進化を続けている

Academic libraries are undergoing a quiet revolution

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/aug/18/university-librarians-recruitment>

20 August 2009

“大学進学率 50%”の目標はなぜ失敗に終わったのか（ゴードン・ブラウン首相が 2007 年に掲げた数値目標について）

How target of 50% going to university founded

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/aug/20/university-clearing-crunch-funding-problem>

20 August 2009

5万人ものAレベル学生が大学に入学できない事態になっている

50,000 A-level students to miss out on place at university

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/aug/20/a-levels-students-university-admissions>

●The Independent

21 July 2009

学生貸与金の5年間の返済猶予期間がなくなる

Students' five-year 'repayment holiday' on loans is abolished

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/students-fiveyear-repayment-holiday-on-loans-is-abolished-1754393.html>

23 July 2009

ウースター大学の卒業生インターンシップ制度は、学生の求職に希望が持てる斬新なものとなりうる

Saving graduates from the scrapheap: Worcester University's novel internship could give hope to students looking for jobs

<http://www.independent.co.uk/news/education/higher/saving-graduates-from-the-scrap-heap-worcester-universitys-novel-internship-could-give-hope-to-students-looking-for-jobs-1756755.html>

6 August 2009

コベントリー大学は学生にビジネス学を教えているーアトキンス学長が職業に関する学位を設置し、学生への起業方法の指導に努めている

Coventry teaches students the art of business - Madeleine Atkins is reinventing her university by laying on vocational degrees and ensuring students know how to set up their own businesses

<http://www.independent.co.uk/news/education/higher/coventry-teaches-students-the-art-of-business-1767605.html>

7 August 2009

学生の5人に1人は大学の専攻課程に満足していない(2009年度全国学生調査の結果)

1 in 5 students unhappy with university course

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/1-in-5-students-unhappy-with-university-course-1768500.html>

13 August 2009

Aレベル試験で3科目A評価を得た生徒のうち、オックスブリッジへの入学を出願した12,000人以上が、出願者数増の影響で不合格となった

Oxbridge squeeze on triple-A students

More than 12,000 applicants rejected after record surge in A-level results

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/oxbridge-squeeze-on-triple-plea-students-1771182.html>

17 August 2009

何千人もの大学入学希望者が、出願者数増の影響により、大学定時制に入学することになるだろう

Universities back part-time study as applications soar

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/universities-back-part-time-study-as-applications-soar-1773094.html>

19 August 2009

学生の修学資金調達（大学入学者の奨学金受給の状況・見通しについて）

Student finance: A ticket to learn: How to find a bursary

Funding is in place to make your dreams of studying at university a reality

<http://www.independent.co.uk/news/education/higher/student-finance-a-ticket-to-learn-how-to-find-a-bursary-1773359.html>

20 August 2009

A レベル試験の結果が判明。大学入学をめぐる記録的な競争となっている。

Record scramble for university courses

Soaring A-level results and student applications tighten screw - even for bright pupils

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/record-scramble-for-university-courses-1774561.html>

●Times Higher Education

23 July 2009

理工系科目専攻者に限定して 10,000 人分追加入学の門戸を開いたが、大学にはその分の教育経費の支出がなされない

More places, but no more teaching grant-'Fiscally neutral' move opens door to 10,000 extra in STEM subjects

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=407487&c=2>

23 July 2009

卒業生の就職状況に関するデータは読むのが怖い（ほど悲惨な結果になっている）

Graduate employment data make 'grim reading'

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=407491&c=1>

30 July 2009

10,000 人の STEM 科目専攻追加入学枠と 8 月の入学選考方式変更により、各大学が学生の受入に関する対応で混乱している

Extra places plus clearing changes could equal poaching

Government plans for 10,000 additional STEM places run into trouble

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=407579&c=2>

30 July 2009

マンデルソン BIS 大臣が授業料値上げは低所得者層の入学を支援するためと言っている

Lord Mandelson says higher fees must mean more help for the poor

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=407583&c=2>

1

6 August 2009

英国議会下院イノベーション・大学・科学・技能委員会（IUSS）による高等教育の現状調査・分析の結果報告によると、高等教育の質保証の制度を改めるべきとされている

Standards: MPs upbraid sector – Nine months of evidence-gathering came to this: on 2 August, the IUSS Committee published its state-of-the-sector analysis of higher education

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=407671&c=1>

13 August 2009

全体的な満足度は下がったが、一部の大学で高い満足度が示されている（2009年度全国学生調査（National Student Survey）及びTimes Higher Education 学生調査の結果）

Overall satisfaction falls, but small places win big smiles

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=407758&c=1>

17 August 2009

大学教員養成課程修了者で実際に（公立学校）教員になる者はたった半数である（バッキンガム大学出版 *The Good Teacher Training Guide 2009* より）

Could do better – Half of all students who train to be teachers actually go on to teach

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=407787&c=2>

● BBC News

18 August 2009

今秋入学予定の学生は 23,000 ポンドの借金を抱えて卒業することになるだろう（全国学生連合の調査による予測）

New students 'face £23,000 debt'

Students starting university courses this autumn can expect to graduate owing £23,000, a survey suggests.

<http://news.bbc.co.uk/1/hi/education/8205539.stm>

4. フランス

① フランス高等教育の動向

● 「総額 1600 万ユーロの大学キャンパスのデジタル化促進政策」

2009 年 7 月 20 日、ペクレス高等教育・研究大臣は補正予算の枠内で大学キャンパスのデジタル化を行うと発表した。第一には、1000 万ユーロを投入して、大学キャンパス（図書館、教室、カフェテリア、ホール等）の WiFi 設置数を今の 2 倍にし、学生がインターネットにアクセスしやすい環境を整える。第二には、600 万ユーロ（大学の規模によって 3 万ユーロから 15 万ユーロ）を投入して、ポッドキャスト（Podcast）を各大学に設置し、各々の学生のリズムで学習、及び復習ができるようにする。

これらのデジタル機器の設置により、高等教育・研究省は学生の高等教育機会の均等と学業の成就を望んでいる。

参考資料

- ・ URL : フランス高等教育・研究省 HP <http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/>
(2009 年 7 月 20 日)

● 「フランスのエネルギー分野における研究組織の連盟の創設」

2009 年 7 月 23 日に国会で成立した環境法案「Grenelle 1」や 2009 年 7 月 8 日に発表された「国家研究イノベーション戦略」を踏まえて、2009 年 7 月 30 日、環境・エネルギー・持続的発展・海洋大臣のジョン・ルイ・ボルロー（Jean-Louis Borloo）、高等教育・研究大臣のバレリー・ペクレス（Valérie Pécresse）、環境担当副大臣のシャンタル・ジョアンノ（Chantal Jouanno）は、エネルギー分野の連盟組織 ANCRE（Alliance dans le domaine de l'énergie）を創設すると発表した。

同 ANCRE には、CEA、CNRS、IFP（Institut Français du Pétrole）という 3 つの国立研究機関が加盟し、共同でフランスにおけるエネルギー分野の研究の効率性を向上させ、かつヨーロッパのエネルギーに関する連盟機関（EERA—European Energy Research Alliance）と協調することを目的としている。

- ・ URL : フランス高等教育・研究省 HP <http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/>
(2009 年 7 月 30 日)

5. 中国

① 中国の主要大学の動向（主として大学の HP から）

●清華大学が米国マッカーサー基金会の国際発展実践修士コースに選抜される（2009. 07. 01）

6月30日、米国マッカーサー基金会は初の国際発展修士コースに選抜された世界の10大学を発表した。清華大学公共管理学院が全世界の70大学から選ばれ、中国唯一の選抜された大学として、3年間総額90万米ドルの出資援助がなされた。清華大学はその資金と他の援助を利用し、現在の公共管理学院の国際発展修士コース（MID）を国際発展実践修士コース（MDP）に昇格させ、中国発展のパターンに応じた研究を目指す。

マッカーサー基金회에援助され、国際発展修士プロジェクトとなった他の大学は以下のとおり。

コロンビア大学、エモリー大学、フロリダ大学（米）

エネルギー研究院大学（印）

ジェームス・クック大学（オーストラリア）

ダブリン大学トリニティカレッジ（アイルランド）

<http://news.tsinghua.edu.cn/new/news.php?id=20859>

●雲南省科学技術庁が南京大学を訪問（2009. 07. 03）

7月2日、雲南省科学技術庁の一行が南京大学を訪れた。雲南省の産業構成の調整を進め、企業のイノベーション能力を向上させるため、雲南省科学技術庁は南京大学に支援を求めた。南京大学張学長補佐ほか、南京大学と江蘇省をはじめとする地方の経済提携の経験を紹介した。双方は今後各分野で多様な科学技術協力を行う計画。

<http://njunews.nju.edu.cn/show.php?id=3497&menuid=15>

●南開大学：異文化交流研究院を設立（2009. 07. 05）

中国異文化交流研究院が国家中国語国際普及指導班事務局の支援により、南開大学において設立の運びとなった。研究院は、異文化交流を育成するための研修と異文化交流に関する研究を主な目的としており、7月中旬から海外に派遣される孔子学院の教師と中国語教師の育成研修を行う。

<http://news.nankai.edu.cn/zhxw/system/2009/07/05/000024598.shtml>

●北京師範大学教育学部とロンドン大学教育学院の共同フォーラム開催（2009. 07. 06）

7月1日～3日に北京師範大学教育学部とロンドン大学教育学院によって共催された第1期大学院生フォーラムが学内にて開かれた。中国、英国の30人あまりの教員と学生が参加し、また鍾秉林学長がロンドン大学教育学院9名の代表教員・学生と意見交換を行った。

今回のフォーラムは「知識社会における大学」をテーマとし、高等教育と職業、大学における教学、高等教育の市場化、高等教育について政策の分析、高等教育の質、という5つのテーマで行われた。フォーラムは直接交流を行うためにすべて英語で行われた。

<http://202.112.80.57:8080/bsd/wz/2009-07-06/7517.htm>

●「チベット文化講堂」が北京大学に導入される（2009. 07. 06）

北京大学の百年講堂において「チベット文化講堂」という講座が開始された。当プログラムは“思想性、民族性、学術性”が備わっており、初めて北京地域の大学で講座が開かれることになった。今回の講座は“内地におけるラマ教芸術の伝播”をテーマとし、首都師範大学美術学院漢蔵仏教美術研究所の謝繼勝教授が担当する。

「チベット文化講堂」はチベット民主改革 50 周年を記念するために中国チベット情報センターとチベット文化網によって共同企画されたプログラムである。専門家の解説を通して、チベット文化の歴史と現状を紹介し、その独特な魅力を宣伝することが目的である。3 月より、7 回の講座が開かれている。

http://pkunews.pku.edu.cn/xwzh/2009-07/06/content_152750.htm

●清華大学中国循環型經濟産業研究センター設立（2009. 07. 06）

7 月 4 日、清華大学において中国循環型經濟産業研究センター（CICE）が設立された。当センターは関連産業の省エネ・再利用・資源化をめぐる学術活動や国際提携を行い、もって循環型經濟産業の基幹技術の開発、普及、産業化を推進し、あわせて中央や地方の循環型經濟産業政策を支援することを目的としている。中国国家發展改革委員会、中国科学技術部、中国工業・情報化部、中国環境保護部の幹部と主任研究員が CICE の指導委員を務め、清華大学の幹部等が CICE の管理委員を務める。清華大学環境学科温宗国教授が CICE の責任者となる。

さらに、当日“清華大学中国循環型經濟産業研究センター設立大会及びグローバル循環型經濟産業フォーラム始動式”が開催された。グローバル循環型經濟産業フォーラム（Global Circular Economy Industry Forum, GCEIF）が 2009 年 11 月中旬頃に北京において開催が計画されている。

<http://news.tsinghua.edu.cn/new/news.php?id=20886>

●上海交通大学：嘉興市と全面提携枠組協定に調印（2009. 07. 08）

7 月 4 日、上海交通大学と浙江省嘉興市人民政府との間で「全面協力の強化、共同發展の促進」を目指す枠組協定の調印式が行われた。今回の協定は教育や科技や医療や人材サポートなどの多数分野に関わっている。

<http://www.sjtu.edu.cn/news/shownews.php?id=22051>

●北京大学：2009 年内陸・西部地区に就職する卒業生歓送会を開催（2009. 07. 08）

7 月 6 日、北京大学 2009 年内陸・西部地区に就職する卒業生歓送会が学内で開催された。近年、北京大学では、卒業生が内陸・西部地区や国家重点産業や分野に就職することが推奨されている。2009 年は全校で 157 人が内陸・西部地区に就職することになっており、昨年の同期に比べ 3 割増え、最高人数を更新した。

http://pkunews.pku.edu.cn/xwzh/2009-07/08/content_152928.htm

●南開大学と西安交通大学が大学間協力枠組協定に調印（2009. 07. 08）

7 月 6 日、7 日に、南開大学饒学長をはじめとする一行が西安交通大学を訪問し、西安交通大学の学長以下と両校の協力枠組協定に関する調印を行った。両大学は教員の質や人材育成、科学研究、学生生活等の面で協力を強化することで合意した。

<http://news.nankai.edu.cn/zxw/system/2009/07/08/000024625.shtml>

●清華大学 23 人が 2008 年「長江学者奨励計画」に選抜 (2009. 07. 09)

7 月 8 日、2008 年長江学者の人选の結果が発表された。清華大学は 23 名の教授が選抜され、長江学者特別招聘教授 14 名、長江学者講座教授 9 名である。長江学者奨励計画は教育部と香港李嘉誠基金会の提携で行われたハイレベルな人材プログラムであり、現在まで、清華大学における選抜者数が全国の大学で最多である。

<http://news.tsinghua.edu.cn/new/news.php?id=20907>

●東北大学総長が天津大学を訪問 (2009. 07. 09)

7 月 7 日、東北大学井上明久総長が天津大学を訪問した。天津大学と東北大学は学生交流プログラムと共同シンポジウムの実施可能性について意見交換を行った。東北大学井上総長は過去に数回天津大学を訪ね、2006 年より天津大学の名誉教授となっている。

<http://www.tju.edu.cn/newscenter/Pubnewsdetail.do?nid=11398>

●東京工業大学副学長が天津大学を訪問 (2009. 07. 12)

7 月 11 日、東京工業大学の倉一郎副学長一行が天津大学を訪問し、天津大学馮副学長他と意見交換を行った。天津大学と東京工業大学は昨年の協力協議を踏まえ更なる実質的な提携活動を行うこととし、博士課程学生の国費留学・大学院生の共同育成・共同科学研究プロジェクトの 3 つの面で協力していくことで合意した。

<http://www.tju.edu.cn/newscenter/Pubnewsdetail.do?nid=11410>

●浙江大学：ロボカップ 8 強入り (2009. 07. 14)

人工知能とロボット分野で最大規模のロボット大会ー第 13 回ロボカップ (RoboCup2009) がオーストリアにおいて開催され、浙江大学チームがロボカップサッカーコーナーで見事 8 強入りを果たした。40 ヶ国 3000 名以上の参加者が今回の大会に参加。浙江大学チームは大会のシミュレーションリーグ、小型ロボットリーグ、ロボカップレスキューへ参加したが、いずれも 8 強入りを果たした。特に、シミュレーションリーグでの 8 強入りは中国がこの大会に参加した以来、初めて。シミュレーションリーグには、米国、日本、ドイツ、シンガポール、中国など、10 ヶ国 24 チームが参加した。

<http://www.news.zju.edu.cn/news.php?id=27802>

●南京大学：第二次海外ハイレベル人材創新創業基地に選抜される (2009. 07. 15)

南京大学が第二次海外ハイレベル人材創新創業基地に選抜された。海外ハイレベル人材を導入する「千人計画」の実施促進のため、中央政府当局は一定の条件を満たした企業、高等教育機関、科学研究機関及び一部の国家レベルの技術産業開発区で、海外ハイレベル人材創新創業基地の建設を決定している。その目的は海外の優秀人材を獲得し、科学研究と技術開発及びその産業化の促進である。今回南京大学のほか、復旦大学、浙江大学、西安交通大学とハルビン工業大学なども選抜された。

<http://njnews.nju.edu.cn/show.php?id=3636&menuid=1>

●西安交通大学：学長一行が大慶油田を訪問、全面連携へ (2009. 07. 15)

7月10日～11日、鄭南寧学長をはじめとする代表団が大慶油田を訪問し、大慶油田側から熱烈な歓迎を受けた。双方は人材育成、科学研究などについて交流と討論を行い、大学院生の育成、多領域にわたる科学研究連携等の面で合意した。

全面連携協定の調印式で、鄭学長は、「このたびの訪問はわが大学と国有大手企業が科学革新と人材育成等の面で協力を行う実質的な第一歩であり、双方とも長期的な連携の下、より大きな発展を遂げることを希望する」と挨拶を述べた。

<http://xjtunews.xjtu.edu.cn/zhxw/2009-07/1247623035d23754.shtml>

●米国エネルギー省スティーブン・チュウ長官が清華フォーラムへ（2009.07.15）

7月15日、米国エネルギー省スティーブン・チュウ長官が清華大学を訪問し、清華フォーラムに参加した。チュウ長官は「エネルギー問題と気候変動」に関する講演を行った。清華大学の王大中前学長が司会を行った。中国国家エネルギー局呉局長、ノーベル賞受賞者楊振寧博士、清華大学宋学長補佐をはじめ、核エネルギー研究院、熱エネルギー工程院、電気機械学部、建築学院等から400名の学生と教員が講演会に参加した。

スティーブン・チュウ氏は1997年にノーベル物理学賞を獲得。2008年12月15日米国オバマ大統領にエネルギー省の長官に指名され、2009年1月に就任した。

<http://news.tsinghua.edu.cn/new/news.php?id=20953>

●天津大学と中国・シンガポール天津生態城が協力協定に調印（2009.07.16）

7月16日、天津大学と中国・シンガポール天津生態城は協力枠組協定を締結した。天津大学龔克学長と中国・シンガポール天津生態城管理委員会崔広志主任は協定に調印した。双方は平等互惠、共同发展という原則に基づき、科学技術や人材面で協力することで合意した。協定によると、天津大学は生態城で「天津大学—中国・シンガポール天津生態城建築計画設計研究院」を設立し、生態城建設のため専門家を集め、人材の育成や技術研修の面でサポートを行う。また、天津大学の一部の若手教員と学生が生態城に派遣され、実習する。調印式にあたり、天津大学馮亜青副学長はシンガポール国家開発・シンガポール国立大学・南洋理工大學などの責任者と会見した。

<http://www.tju.edu.cn/newscenter/Pubnewsdetail.do?nid=11422>

●吉林大学：中国第一汽車集団と産学研への全面的な協力協議（2009.07.16）

7月16日、吉林大学と中国第一汽車集団が「産学研」への全面的な協力協議に調印した。今後人的資源の開発と利用、技術開発と利用、ソフト課題の研究と利用を促進することで、市場に適応した技術革新協力システムの構築が期待されている。中国一汽集团公司徐総経理と吉林大学展学長が協議書に調印した。

2006年、双方は「吉林大学—中国一汽集团公司戦略協力協議書」を締結し、自動車技術、人材育成、教育等の面で、交流と協力を深めてきた。今回の協力協議は「産学研」への全面的な協力を実現させるための確実な土台となる。

<http://news.jlu.edu.cn/new/?mod=article&act=show&id=6491>

●清華大学校友が2008年米国「若手科学者大統領賞」を受賞（2009.07.17）

先日、ホワイトハウスサイトに2008年米国「若手科学者大統領賞」（PECASE, the Presidential Early Career Awards for Scientists and Engineers）の受賞者リストが掲載され、清華大学校友の鄭曉琳氏を含む100名の若手科学者の名前が掲載された。授与式は本

年秋にホワイトハウスで行われる。「若手科学者大統領賞」は 1996 年に設立された米国若手科学者とエンジニアのための最高賞である。鄭曉琳氏は 1978 年 10 月遼寧省遼陽市に生まれ、1995 年清華大学熱エネルギー工学部に入学、2000 年卒業後、2006 年プリンストン大学から機械宇宙工学博士号を取得した。現在スタンフォード大学の准教授となっている。今回の受賞はアメリカ国防総省に推薦された。

<http://news.tsinghua.edu.cn/new/news.php?id=20973>

●鉄道部と上海交通大学が 2009 年共同研究に関する協定を締結 (2009. 07. 17)

7 月 15 日、中国鉄道部と上海交通大学は北京において 2009 年共同研究に関する協定を締結した。鉄道部の何技師長は、上海交通大学の張副学長とともに協定に署名した。双方は今後鉄路建設の分野で広範に交流を行い、長期の研究提携関係を築くことを計画している。

<http://www.sjtu.edu.cn/news/shownews.php?id=22157>

●武漢大学：香港・マカオ・台湾の華僑学生募集人数が 6 年連続で全国一位 (2009. 07. 20)

本年、武漢大学に入学した香港・マカオ・台湾の華僑学生は 200 名であり、総人数は全国の大学の中でトップである。2004 年から首位の座にあり本年で六年目である。マカオで学生 15 人を募集予定だったが、武漢大学に興味を持っている優秀な学生が多く、最終的には予定を越える 38 名を募集した。学生の多くは、工商管理、経済、新聞メディア、法学などの人気学部にて在学している。彼らは勉強だけでなく、様々なイベント等にも積極的に参加している。

<http://news.whu.edu.cn/newsite/showinfo.php?newid=7098>

●アジア核物理連合会 (ANPhA) が北京大学にて設立 (2009. 07. 20)

7 月 18 日、中日韓を主とする核物理分野の代表者が北京大学に集まり、準備を行ってきたアジア核物理連合会 (Asian Nuclear Physics Association) が設立された。設立式において 12 名の理事が選出された。理事長は中、日、韓の代表の間で交替することになっており、第一回理事会において、東京大学酒井教授が理事長に選出され、北京大学叶沿林教授と韓国基礎科学技術研究委員会担当者 Dong-Phil Min 氏が副理事長に選出された。

http://pkunews.pku.edu.cn/xwzh/2009-07/20/content_154148.htm

●慶應義塾大学が華中科技大学において皆既日食を観測 (2009. 07. 23)

7 月 22 日、慶應義塾大学 DMC 機構 (The Research Institute for Digital Media and Content) の専門家たちが、構内で皆既日食を観測した。ネットワーク計算センター主任李芝棠教授によると、慶應義塾大学 DMC 機構は 3 月中旬からすでに武漢に来て、皆既日食の観測場所を調査していたが、最終的には華中科技大学に決定した。武漢で IPv6 を使った接続が可能な唯一のところだからである。DMC 機構はこの高速ネットワークを使って、映像を日本に送信し、世界各地に配信する。IPv6 は Internet Protocol Version 6 の略語であり、現在主流の IPv4 よりスピードが速く、映像がきれいなので、普及が期待されている。IPv6 は華中科技大学において教育研究で使われている。慶應義塾大学 DMC 機構の山田直久教授の紹介によると、DMC 機構のほか、五藤光学研究所も今回の観測に参加した。この研究所の研究分野は、デジタル映像システム、ネットワーク、映像の三つであり、今回はデジタル映像システム研究のために武漢を来訪した。

慶應義塾大学と華中科技大学が 2008 年 5 月に締結した協議では、今回のイベントは両大学間の科学技術に関する協力交流の一環である。

<http://news.houstonline.net/Html/2009-7-23/64406.shtml>

② メディア（インターネット）による報道

●天津大学：「学部」に新たな試み、学部内調整を開始（2009.07.24）

天津大学は、国内・国外向けに13の学部長等を公募するという通知を行った。今回公募された計画によると、管理学科へのニーズが最も多いという。こういった活動は、天津大学において「学部」における新たな試みであり、学部内調整を始めることを意味している。

http://gaojiao.jyb.cn/gdjyxw/200907/t20090724_294239.html

③ メディア（新聞）による報道

●教育部、大学入試受験者の採用へ周到に手筈

China Education Daily/中国教育報（2009.07.02）

中国の各省・市は新入生採用作業の段階に入り、それに関し教育部は、6つの要求を提示した。

1. 違反行為を行った受験生の確認とその責任の所在の明確化
2. 採用に関する改革に積極に取り組むこと
3. 厳格な学生招致計画のルール遵守
4. 一層のサービス向上
5. 入学の斡旋・仲介など、違法行為の阻止
6. 新入生の入学手続き管理を確実にすること

●天津大学：有力学科強化で、産業技術レベルをアップ

China Education Daily/中国教育報（2009.07.15）

天津大学は、上海万博のサンシャインバレーに使う骨組みの接合部分を担当するが、コストが海外企業の5分の1に過ぎず、周囲から高い評価を得ている。2008年、同校の科技工作総結大会では、学長が世界の最先端を目指し貪欲に進むことを示したが、現在では国・省レベルのエンジニアリングセンターや研究機関と提携し、206の大手、重点企業と契約を交わしている。殊に航空分野では、国の16の重要プロジェクトに天津大学が関与している。